

江戸文化研究会

4月以降の行事予定

第71回	講演と笛の演奏会 「笛(篠笛と能管)の歴史と 江戸期の発展」 ～笛の音で日本の四季を感じませんか!～	4月 13日(日)	文京総合 福祉センター 江戸川橋4階 地域活動室	4月5日(土) 締切り	2/4
第72回	講演会 「江戸のどうぶつ百景」(仮題)	5月 17日(土)	文京総合 福祉センター 江戸川橋4階 視聴覚室	5月9日(金) 締切り	3/4
第73回	金原亭小馬生 落語独演会 「酢豆腐」 & 「大山詣り」	6月 …別途 お知らせ	別途お知らせ	別途お知らせ	4/4

※ 参加申込み要領

- ① 監査懇話会メンバーの方は、懇親会参加の有無を含めて担当世話人宛てにメールでお申込み下さい。
- ② 監査懇話会メンバー以外の方は、下記情報を明記の上 当会申込窓口宛にメールでお申込み下さい。
(会場の制約等の事情により、ご参加をお断りする場合がありますことを予めご了承ください。)

<申込窓口>

edobunka@outlook.jp

<申込メール記載事項>

- ・ お名前(フリガナを付記して下さい)
- ・ 所属団体名・会社名等……退職した方は旧・勤務先名等
- ・ 参加希望日程・及び 行事名
- ・ 懇親会参加の有無
- ・ 緊急連絡用 携帯電話番号
- ・ 電子メールアドレス

一般社団法人 監査懇話会
江戸文化研究会

https://kansakonwakai.com/cultural_activities/edobunka-kai/

第71回 江戸文化研究会

講演会 「笛(篠笛と能管)の歴史と江戸期の発展」

～笛の音で日本の四季を感じませんか！～

日 時: 2025年4月13日(日) 15:00 開講 (14:30 開場)
16:30 閉講予定
17:00 より懇親会

場 所: 文京総合福祉センター 江戸川橋 4階 地域活動室

講 師: 福原 洋音(ふくはら ひろね)師

(略歴)

東京生まれ、幼少より日本舞踊を習う。
1992年 笛の福原流 福原 洋子師に師事
1997年 福原流四世宗家寶 山左衛門師より
福原 洋音の名を許される
2002年 東京芸術大学音楽部邦楽科
邦楽囃子(笛)卒業
2005年 同大学大学院音楽研究科修士課程修了



- 長唄三味線を東音渋谷 薫師に、邦楽囃子を望月 左武郎師に師事
- 在学中に皇居桃華楽堂において御前演奏
- (社)長唄協会会員、お囃子ライブ同人、子供合奏邦楽団音輪会講師
- 東京都主催キッズ伝統芸能講師
- 甲府で稽古会「魁里」主宰、東京で稽古会「洋音会」主宰

内 容: 講演の大筋を以下の通り予定しています。

- ① 歌舞伎囃子の笛に至るまでの大まかな流れ
- ② お囃子とは
- ③ 歌舞伎囃子あれこれ
- ④ 能管と篠笛について
- ⑤ 笛の演奏と口唱歌体験

会 費: 3,000 円

懇親会: 講演終了後、有志による懇親会(4,000 円)を予定いたします。

参加申込時に併せてお申込み下さい。

申込み: 懇親会参加の有無を含めて、**4月5日(土)まで**にメールにて世話人あて申し込みください。

コロナ対策:ご参加の方は、下記をご徹底ください。

- 会場内では常時マスクの着用を励行してください。
- 近距離での会話や大声での発声をお避けください。

世話人: 山崎 猛



第72回 江戸文化研究会

講演会「江戸のどうぶつ百景」(仮題)

日時: 5月17日(土) 15:00開講(14:30開場) 16:30閉講予定 17:00より懇親会

場所: 文京総合福祉センター 江戸川橋 4階 視聴覚室

講師: 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 小山 周子先生

内容: 江戸時代、人と動物たちはどんな関係を築いていたのか。

「江戸時代の町人と動物とのかかわり」などについて、江戸東京博物館が所蔵する浮世絵ほかのコレクションによる「どうぶつ百景」展示企画(全国巡回中)を担当された学芸員の方による講演です。

同館のコレクション作品からわかる「人と動物たちの暮らし」から、江戸庶民と動物との触れ合い、関係(犬猫以外に見世物としてのラクダ・象など)を、浮世絵・文献等から描き出す・江戸の町人たち(男女・大人・子供)はどのように動物をいつくしみ、かわいがり、触れ合い等を

楽しんでいたか・といった内容でお話頂く予定です。

会費: 3,000円

懇親会: 講演終了後、有志による懇親会(4,000円)を予定いたします。

参加申込時に併せてお申込み下さい。

申込み: 懇親会参加の有無を含めて、**5月9日(金)まで**にメールにて世話人あて申し込みください。

コロナ対策: ご参加の方は、下記をご徹底ください。

- 会場内では常時マスクの着用を励行してください。
- 近距離での会話や大声での発声をお避けください。

世話人: 的場 大典



金原亭小馬生(旧称・馬玉)独演会 ～「酢豆腐」 & 「大山詣り」～

日時: 別途お知らせ……2025年6月に8日(日)、21日(土)、29日(日)を候補に調整中

場所: 別途お知らせ

出演: 金原亭小馬生師匠

2000年4月 第十一代 金原亭馬生門下に入門

前座名 金原亭駒介

2003年11月 ニツ目昇進 金原亭馬吉 と改名

2015年3月 真打昇進 二代目 金原亭馬玉 襲名

2024年2月 金原亭小馬生 と改名

演目: <あらすじをWikipediaより転記>

酢豆腐

ある夏の昼下がりに。暇な若い衆が寄り集まり暑気払いに酒を飲
と相談をしているが、「宵越しの銭は持たない」が身上の江戸っ
ちには金がない。酒はどうか都合するとして、安い肴はない
考えていると、ある男が糠床の底に残っている古漬けでかくや
こ(糠漬けの古漬けを刻んでミョウガや生姜を薬味として添え
理)を作ればいと提案する。

これは妙案だと皆喜ぶが、手が糠味憎くさくなるのがいやな
ので古漬けを引き上げる役を引き受ける者がひとりもない。

やがて兄貴分の男が、昨夜豆腐を買ってあったことを思い出したが、せっかくの豆腐は与太郎が夏場
にもかかわらずねずみいらずの中にしまったせいで腐ってしまっていた。

そこに伊勢屋の若旦那が通りかかる。知ったかぶりの通人気取り、気障で嫌らしくて界隈の江戸っ子達
からは嫌われ者の若旦那を見た兄貴分は、この若旦那を困らせてやろうと思いついて彼を呼び入れる
と、「実は舶来物の珍味があるのだが、何だか分からねえ。若旦那ならご存知でしょう」と腐った豆腐を
出す。若旦那は知らないとも言えず、「これは酢豆腐でげしょう」と知ったかぶる。さすがは通人の若旦那
だと持ち上げられた上にどうやって食べるのか見せてくれと頼まれるといやとは言えず、仕方なく
腐った豆腐を一口食べて苦悶する。兄貴分が「若旦那、もう一口如何ですか」と声をかけると若旦那が
「いや、酢豆腐は一口に限りやす」。

大山詣り

町内の仲間で大山参りに行くことになったが、毎年酒乱の熊五郎が迷惑をかけるため、道中で酒を飲
んで暴れた者は坊主にするという約束で出発した。行きは何事も問題なくすんだが、帰りの神奈川宿
の宿屋で泥酔した熊五郎が風呂場で暴れるという事件を起こす。仲間たちは約束通り、寝入った熊五
郎の髪を剃り上げて坊主にすると、彼を置いて朝早く出立した。

朝、目を覚ました熊五郎は坊主にされていることに気づく。早駕籠で仲間より先に江戸に帰ると、留守
番をしていた仲間の女房たちに、仲間たちが帰りに金沢八景で船事故に遭って自分以外は全員溺死し
てしまい、自分は弔いのために頭を丸めたと嘘をつく。女房たちはこの嘘に騙され、自分たちも弔い
のために……と髪を剃ってしまう。そこに仲間が帰り、事態を知って激怒する。その中で年長者がめで
たいことだから、怒るに及ばないと仲間を諭す。どうしてだと尋ねられ、答える。「お山は晴天、家へ帰
れば皆、毛が(怪我)無くてめでたい」

会費: 3,000円

懇親会: 講演終了後、有志による懇親会(4,000円)を予定いたします。

参加申込時に併せてお申込み下さい。

申込み: 懇親会参加の有無を含めて、メールにて世話人あて申し込みください。(期限は別途設定)

コロナ対策: ご参加の方は、下記をご徹底ください。

- 会場内では常時マスクの着用を励行してください。
- 近距離での会話や大声での発声をお避けください。

世話人: 森山 正雄

